

別記 Yamanashi AIハッカソン企画・実施業務 評価基準

No.	項目	評価内容	配点
<b>1. ハッカソン企画・運営内容</b>			
1	企画全体	提案が本委託業務の目的・趣旨を十分に理解した企画となっているか。	15
2	ファシリテーター	ハッカソンが円滑に実施されるよう、企画から運営まで総合的な調整役となるファシリテーターにふさわしい人材が選任されており、効果的に配置されているか。	15
3	募集・PR	効果的な打ち出し、募集方法を採用し、参加者が十分に見込まれる提案となっているか。	10
4	チーム編成	チーム編成において、チーム間の開発能力に隔たりが出ないような工夫されているか。	5
5	参加者サポート	参加者のプログラミング言語「Python」の理解度を底上げするような事前学習、事前講習会を設置するなどの工夫がされているか。	15
6	コミュニケーション	主催者、受託者、参加者がコミュニケーションを取れる場が用意され、契約期間中、効果的に運用がされる提案となっているか。	10
<b>2. 業務遂行能力</b>			
7	実施体制	業務実施に当たっての業務実施体制は適切か。	10
8	作業従事者の能力	主な作業従事者の能力やこれまでの実績等は適切か。	5
9	スケジュール	想定する業務全体のスケジュールは適切か。	5
<b>3. 提案価格</b>			
10	提案価格	計算式: 配点 × (1 - 見積額 / 予算上限額) ※少数第2位を切り捨て	10

合計 100

## 評価方法について

### 1. 採点基準

(1)No.1～9の採点基準は次の5段階評価とする

採点	内容
5	具体的な記述がされ、特に優れた提案がされている
4	仕様書の要件を満たし、かつ具体的に記述されている
3	仕様書の要件を満たしている
2	仕様書の要件を一部満たしていない、一部記述がない
1	仕様書の要件の記述があるか判断できない
0	提案がない場合

※配点が10点の項目は2倍の評価とする。

※配点が15点の項目は3倍の評価とする。

(2)No.10の採点基準は次の計算式による評価とする

計算式	$\text{配点} \times (1 - \text{見積額} / \text{予算上限額})$
-----	--

### 2. 評価対象

- ・基本的に企画提案書に記載されている内容について評価するものとする。
- ・プレゼンテーションは企画提案書の補足であり、評価する際の参考とする。